

ごみ総排出量の推移及び基本計画目標値の達成状況

1 ごみ総排出量の推移

まず、目標値の設定についてですが、寝屋川市一般廃棄物処理基本計画（以下、「計画」といいます。）により定められています。前計画は、平成23年度から令和2年度までの10年計画で、現計画は令和3年度から令和12年度までの10年計画となっています。前計画が令和2年度を最終目標年度として設定しているため、昨年度の令和2年度は前計画で進行管理し、令和3年度からは現在の現計画の中で、令和12年度を最終目標年度と設定し進行管理を行っていきます。

次に、令和2年度実績と目標値についてですが、令和2年度ごみ総排出量（速報値）は、70,444 tで、前計画の令和2年度目標値65,856 tと比較し、4,588 t（7.0%）超過しています。（集団回収量を含む）

令和2年度の家庭系ごみの内、集団回収量を除く排出量は49,313 tで、目標値の40,529 tより8,784 t超過しています。また、事業系ごみ排出量は16,100 tで、目標値15,187 tより913 t超過し、合せて9,697 tの超過となっています。

【表 1 ごみ総排出量】

（単位：t）

| 項目/年度 | 実績値 | | | 速報値 (a) | 前計画 目標値 | 差 (c)= (a)-(b) | 達成 状況 | 現計画 目標値 |
|-------------------------|---------|---------|---------|------------|------------|----------------------|----------|------------|
| | H21 | H27 | R1 | R2 | R2 | R3 | | |
| 人口(人) (各年 10/1 現在) | 243,217 | 239,594 | 232,050 | 230,738 | 215,360 | +15,378 | - | 228,154 |
| ごみ総排出量 (A) = (B)+(C) | 79,286 | 75,928 | 71,771 | 70,444 | 65,856 | +4,588 | × | 68,344 |
| 家庭系ごみ量計 (B) | 60,229 | 56,760 | 54,662 | 54,344 | 50,669 | +3,675 | × | 51,919 |
| 集団回収 を除く | 52,383 | 50,037 | 48,840 | 49,313 | 40,529 | +8,784 | × | 46,609 |
| 資源集団 回収量 | 7,846 | 6,723 | 5,822 | 5,032 | 10,140 | -5,108 | × | 5,311 |
| 事業系ごみ量計 (C) | 19,057 | 19,168 | 17,109 | 16,100 | 15,187 | +913 | × | 16,425 |
| 再生利用率 (リサイクル率) | 20.8% | 21.9% | 21.3% | 21.2% | 27.0% | -5.8% | × | 22.3% |
| 最終処分量 | 11,926 | 10,646 | 8,339 | 8,412 | 9,273 | -861 | ○ | 8,358 |

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

※ごみ総排出量：寝屋川市域で1年間に排出されたごみ量のことで、①家庭ごみ（集団回収含む）+②事業系ごみ（市に搬入されたごみ）の合計量です。

※再生利用率（リサイクル率）とは、排出されたごみのうち、リサイクルされるものの割合。

（市での資源化量+集団回収量）÷ごみ総排出量×100により求められる。

2 前計画目標値の達成状況

表1のとおり、令和2年度のごみ総排出量70,444 tで、中間目標年度の平成27年度と比べ5,484 t減少しましたが、令和3年度の目標値68,344 tを達成するためには、更に2,100 t（総排出量で考えると、令和2年度人口で、市民1人1日当たり約25g）減量する必要があります。

目標値と乖離している要因ですが、ごみ量は人口の影響が大きく、本市の実際の人口が、人口予測値より大きい（予測より人口減少が緩やか）ため、ごみ量全体に影響していると考えます（令和2年10月1日現在230,738人、令和2年度の人口予測215,360人、15,378人多い）。

市民1人1日当たりごみ総排出量で目標値と比較すると、表2のとおりです。

令和2年度市民1人1日当たりごみ総排出量は836.4gとなっており、令和2年度目標値837.8gは達成できました。集団回収を除いて比較すると、令和2年度は585.5gで令和3年度の目標値559.7gを達成するためには、今年度は、更に25.8gの減量が必要です（年換算すると、市民1人当たり約9kgの減量が必要です）。

最終処分量は令和2年度8,412 tで、目標値9,273 tを達成できました。令和3年度の目標値8,358 tを達成するためには、焼却・不燃ごみの発生抑制や資源ごみの分別排出の徹底が引き続き重要です。

【表2 市民一人1日当たりごみ総排出量】

（単位：g/人・日）

| 項目/年度 | 実績値 | | | 速報値 (a) | 前計画 目標値 (b) | 差 (c)= (a)-(b) | 達成 状況 | 現計画 目標値 |
|-----------------------|---------|---------|---------|------------|-------------------|----------------------|----------|------------|
| | H21 | H27 | R1 | R2 | R2 | R3 | | |
| 人口(人) (各年 10/1 現在) | 243,217 | 239,594 | 232,050 | 230,738 | 215,360 | +15,378 | - | 228,154 |
| ごみ総排出量 (A)=(B)+(C) | 893.1 | 865.8 | 845.1 | 836.4 | 837.8 | -1.4 | ○ | 820.7 |
| 家庭系ごみ量計 (B) | 678.5 | 647.3 | 643.6 | 645.3 | 644.6 | +0.7 | × | 623.5 |
| 集団回収 を除く | 590.1 | 570.6 | 575.1 | 585.5 | 515.6 | +69.9 | × | 559.7 |
| 資源集団 回収量 | 88.4 | 76.7 | 68.6 | 59.7 | 129.0 | -69.3 | × | 63.8 |
| 事業系ごみ量計 (C) | 214.7 | 218.6 | 201.4 | 191.2 | 193.2 | -2.0 | ○ | 197.2 |

※市民1人1日当たりごみ総排出量は、ごみ総排出量÷人口÷365日（閏年は366日）より求められる。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。